

7月21日：VN指数は2日続落後に反発

VN指数は0.03%高の861.69ポイントで火曜日の取引を終えた。大型株の上昇が相場を支えた。

売りと買いが拮抗し、指数は4ポイントという狭いレンジで上下した。

ホーチミン取引所では、196銘柄が下落し164銘柄が上昇した。

出来高は4.58兆ドンで先週平均の4.3兆ドンよりも大きかった。46.5%の取引がVN30指数採用銘柄であった。

VN30指数は0.17%高、15銘柄が上昇し10銘柄が下落した。

コテコンズ建設（CTD）は1.9%高となった。同社は決算を発表し、売上が31.4%減となったが、純利益は28%高となった。

コテコンズによると、2019年の決算が悪かったがことが増加の要因であるとのことだった。

FPTグループ（FPT）、ノブランド不動産（NVL）、リー電気冷蔵工業（REE）、ベトジェット航空（VJC）などがすべて0.8%高となった。

国営銀行も上昇、軍隊商業銀行（MBB）は0.6%高、ベトコムバンク（VCB）は0.4%高、ベティンバンク（CTG）は0.2%高、BIDV銀行（BID）は変わらずで取引を終えた。

サコムバンク（STB）、VPバンク（VPB）といった民間銀行も上昇した。

ビンググループ（VIC）は変わらず、ビンコムリテール（VRE）は0.4%高、ビンホームズ（VHM）は0.5%安となった。

SSI証券（SSI）は1.3%安、ペトロリメックス（PLX）とバオベトホールディングス（BVH）がそれぞれ1.1%安、0.8%安でそれに続いた。

その他、HDバンク（HDB）、マサングループ（MSN）、サイゴンビール（SAB）、ペトロベトナムパワー（POW）などが下落した。

ホーチミン取引所は、VN30 指数に新たにカンディエンハウス (KDH) とホアンファイグループ (TCH) が採用され、BVH と CTD が除外されると発表をした。

VN30 指数は時価総額、出来高、浮動株比率などを考慮して6か月ごとに見直される。

ハノイ取引所の HNX 指数は変わらず、UPCoM 指数は 0.12% 高だった。

外国人投資家は売り越しで、ビンホームズ、ホアファットグループなどに売りが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。